

うか。

(1) 報告の際の教師の役割

知識を持ち理解せねばならないもの

・ 学校の教育方針

・ 子どもの成長発達について

・ 地域社会の性質とその問題・要求

・ 評価・報告さるべき成長の種類・性質

・ 報告の目的

・ 報告に役立つ特殊な技術・工夫

・ 研究せねばならないもの

・ 子どもの背景の事情の集め方・使い方

・ 子どもの現在の発達状態の評価法

・ 発達・進歩の報告法

・ 報告法改善の際の両親・教師の共同研究法

・ 子どもが自己の成長を報告出来るように援助する方法

(2) 報告の際の両親の役割

・ 両親は種々のことに責任感を持つべきである。

・ 学校計画を理解し、それについての意見行動をはっきり定める。

・ 子ども全般（特に自分の子ども）につい

て）への深い理解を養う。

・ 子どもの問題・要求を知るべく教師と共に同して研究する。

・ 学外活動を導き、次の学校計画について準備出来るよう援助する。

・ 子どもの発達記録を継続的に行なう。

(3) 報告の際の子どもの役割

・ 報告の目的を理解する。

・ 成長・発達について自己の責任を意識しこれを指導してくれるおとなに協力する。

・ 個々の要求・問題・能力を理解・自覚する。

・ 両親はじめおとなに自分の発達・進歩を報告する技術を養う。

・ 個々の進歩評価を教師と共に計画的に行なう、組織的グループを作る。

報告法に関して以上の事を紹介したが、最後にその重要性を述べることばをつけ加える。

「良き教授法には、教える時よりも評価・報告の方が大切である」。

（茨城・下妻少友幼稚園 福西百合）

幼児の教育 第五十九巻 第十号

十月号 © 定価 五十円

昭和三十五年九月二十五日印刷

昭和三十五年十月一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館 にお願ひいたします。